

令和 5 年度公益社団法人京都鴨沂会事業報告

令和 5 年度はコロナ禍が概ね収束したことを受けて、ICT 導入とマンパワーの増強による新しい業務環境の整備改善を進め、法人業務、公益目的事業、収益事業を実施した。

I 公益目的事業

(公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び教育研究助成費

高等学校教育の振興と学力向上、及び社会の発展に寄与する人材育成に寄与し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行った。

ア 奨学金(公募)

「京都鴨沂会奨学金」 月額 10,000 円

勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付した。令和 5 年度は、京都公立高校から 21 名(3 年生 16 名、2 年生 5 名)の応募があり、有識者で構成される選考委員会により慎重に審議し、8 校 14 名(3 年生 10 名、2 年生 4 名)を選出し、理事会の議を経て、月額 1 万円の給付を実施した。

「大学進学支援金」 30,000 円

勉学意欲がありながら経済的理由により大学への進学をためらう高校生に対して、大学への進学を支援する事業を実施した。

令和 5 年度は、コロナ禍の最前線で奮闘される医師・看護師など医療従事者を目標として大学進学する生徒を対象として公募し、京都公立高校 2 校から 3 名の応募があり、選考委員会により慎重に審議し、理事会の議を経て応募者 3 名を決定して支援金 3 万円を給付した。

イ 教育研究の支援(公募)

「京都鴨沂会教育研究助成費」

高校独自の教育特別事業として、①授業内容の向上をめざす研究、②教員の資質向上をめざす研究に対して必要資金の一部を 1 件 10 万円以内で 2 件を限度として助成した。

令和 5 年度は、下記の 2 件の応募があり、選考委員会により慎重に審議し、理事会の議を経て 2 件に各 10 万円の助成費を給付した。

- ・ ICT 機器を活用した「深い学びにつながる定量的な実験教材」の開発と授業実践

岡本 宇隼 鳥羽高等学校

- ・ 生徒主体の探究プログラム「理科・環境分野」の開発と実践

中路 航 北稜高等学校

(公2) 高齢者福祉及び国際相互理解の促進に資するための芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

ア 芸術・伝統文化講習会の開催

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催した。

「京都鴨沂会文化教室」

茶道教室 講師 天野宗信、 華道教室 講師 中谷豊甫
書道教室 講師 塩小路光瑞、 能楽教室 講師 惣明貞助
香道教室 講師 早川光菜、 紹ざし教室 講師 北村悠紀子
ハワイアンフラ教室 講師 ユミコ レイモミ

イ 高齢者福祉ボランティア活動の推進及び地域活性化に資する自主グループ活動の支援

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネートを行う事業を実施した。

「ボランティア活動の推進助成費」

器楽演奏2回、コーラス1回、茶道2回、書道1回の福祉施設へのボランティア派遣に対して調整し、その経費を助成した。

ウ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の育成に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する事業を実施した。

「外国人のための日本伝統文化教室」

京都のゲーテ・インスティテュートがドイツから招聘したアーティスト、京都大学の外国人教員・招へい外国人学者に対して、令和5年6月華道3名、茶道4名、10月茶道4名、華道5名、令和6年2月華道3名、茶道4名が伝統文化の体験学習に参加した。

「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

令和6年1月28日に京都市の高校に留学中のフランス、メキシコ、スロベキア、アメリカ、ベルギー5か国の高校生5名とホストファミリー、ボランティアの大学生等4名が茶道、華道、書道の体験学習に参加した。

華道講師:中谷 豊甫
茶道講師:天野 宗信
書道講師:塩小路 光瑞

(公3)生涯学習を支援するための公開講演会の開催

学術・芸術・文芸・環境・医療・福祉などに関する公開講座を開催し、地域住民の生涯学習と福祉教育を支援して地域の文化振興に資する事業を実施した。

「第58回教養講座」

令和5年5月28日 第133回年会記念講演「ウイルスとは何か、動物とウイルスの共進化」
講師:宮沢 孝幸 京都大学医生物学研究所 准教授

(公4)文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加えて、伝統文化芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供とともに教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する目的で以下の事業を行った。

「鴨沂会誌の刊行」(7月15日)

令和5年度刊行の鴨沂会誌第160号には、教養講座の論文、高等学校教育振興支援(教育研究助成、高校奨学生、大学進学支援)の報告、ボランティア活動の支援と人材育成のための講習会(文化教室、高校留学生のための日本伝統文化体験学習会)の報告など、本年度の公益目的事業の成果を掲載した。また、公益法人としての事業及び会計を公開するために、令和4年度事業報告・会務報告、収支決算報告と令和5年度事業計画・収支予算を掲載した。

明治20年刊行以来の150冊を超える鴨沂会誌全号とともに編集資料の保存管理を行なった。

「鴨沂会誌のデジタル化」

令和5年度 大正4年第36号～昭和4年第65号

II 会報の刊行その他会員向け事業

ア 鴨沂会報の刊行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で会報第20号を編集し、配布した。

イ 令和4年度会員総会の開催

法人活動の報告のために第133回京都鴨沂会年会において会員総会を開催した。

III 収益事業

ホール、会議室及び駐車場の賃貸

鴨沂会館のホール及び会議室等は、オーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場、講演会、会議、伝統芸能の教室など文化施設として利用された。さらに、利用者の便宜と安全のため駐車場の整備を行い、時間貸しに供した。また、自動販売機を設置した。令和5年度より新館会議室をリモートワークスペース兼用に設営し、広く一般を対象にした自習室の利用に供した。

令和 5 年度公益社団法人京都鴨沂会会務報告

令和 5 年度理事会及び社員総会議事録概要

第 1 回理事会 令和 5 年 4 月 20 日(木) 文書会議

1. 令和 4 年度公益社団法人京都鴨沂会事業・会務報告の承認
2. 令和 4 年度公益社団法人京都鴨沂会収支決算報告の承認

提案者および議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 会長 川井 秀一

上記提案者が上記理事会の決議があったものとみなされた事項の内容について提案をし、当該提案につき理事の全員が書面により同意の意思表示をしたので、公益社団法人京都鴨沂会定款第 6 章第 31 条 3 項および第 7 章第 36 条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

第 2 回理事会 令和 5 年 4 月 22 日(土) 対面およびオンライン会議

1. 4 月 15 日に令和 4 年度事業・会務及び収支決算の監査が行われた。
2. 外国人のための茶道体験学習会(3 月 23 日)講師と助手の謝礼に関する件
3. 鴨沂会誌とHPに掲載する奨学生および大学進学支援金給付者の自由作文では、本人または所属高校が希望すれば著者名を匿名で記載できることを確認した。

第 3 回理事会 令和 5 年 5 月 13 日(土) 対面およびオンライン会議

1. 教育事業奨学金等選考委員会規則およびその別表の改訂案を審議し、一部修正のうえ承認した。

令和 4 年度公益社団法人京都鴨沂会定時社員総会 令和 5 年 5 月 28 日(日) 鴨沂会館新館ホール

第 1 号議案 令和 4 年度公益社団法人京都鴨沂会事業・会務報告の承認

令和 4 年度事業・会務報告書に基づき、令和 4 年度の本会事業並びに会務が報告され、報告書は本年度事業を正しく示されているとの監査結果が報告された。

第 1 号議案は採決の結果、全員賛成により承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度公益社団法人京都鴨沂会収支決算報告の承認

令和 4 年度収支決算報告書に基づき、令和 4 年度の本会の収支決算内容を説明、公益目的事業比率、内部留保金ともに基準を満たしていることが報告された。本年度収支決算は監事及び公認会計士の監査の結果、当法人の収支状況を正しく示していると認められたことが報告された。

第 2 号議案は採決の結果、全員賛成により承認された。

第 4 回理事会 令和 5 年 6 月 7 日 文書会議

1. 寄附金金額変更の件

提案者および議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 会長 川井 秀一

上記提案者が上記理事会の決議があったものとみなされた事項の内容について提案をし、当該提案につき理事の全員が書面により同意の意思表示をしたので、公益社団法人京都鴨沂会定款第6章第31条3項および第7章第36条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

第5回理事会 令和5年7月15日 文書会議

1. アルバイト事務員採用の件

提案者および議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名 会長 川井 秀一

上記提案者が上記理事会の決議があったものとみなされた事項の内容について提案をし、当該提案につき理事の全員が書面により同意の意思表示をしたので、公益社団法人京都鴨沂会定款第6章第31条3項および第7章第36条の規定に基づき、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

第6回理事会 令和5年7月22日（土） 対面およびオンライン会議

1. 令和5年度奨学生8校14名と教育研究助成費の助成課題2件を承認した。

奨学生：3年生10名、2年生4名（応募数8校21名）

教育研究助成課題と助成額：

ICT機器を活用した「深い学びにつながる定量的な実験教材」の開発と授業実践

京都府立鳥羽高等学校 岡本宇隼 10万円

生徒主体の探求プログラム〔理科・環境分野〕の開発と実践

京都府立北稜高等学校 中路航 10万円

2. 老朽化している空調機7台の分解掃除費用の今年度支出と買い替え費の次年度の予算化を承認した。
3. 役員の業務に個人私用のメールアドレスを使用するのは不適切なので、@ohki-kai.orgのドメインで各人の公式メールアドレスを用意することを承認した。
4. 会員増強策の一環として行う広報活動に要する費用30万円の支出を承認した。
5. 在籍職員3名の時給単価を決定した。

第7回理事会 令和5年9月16日（土） 対面およびオンライン会議

1. 管理業務用メールアドレスの取得並びにクラウドストレージサービスの契約を承認した。
2. 令和6年度に7-9巻（66号-90号）のデジタル化を承認した。
3. 歴彩館への会誌寄贈の要請について審議し、デジタル化された会誌を譲渡することとした。
4. エレベーター改修に関して最終審議を行い、京都エレベータ（株）と契約することにした。

第8回理事会 令和5年11月18日（土） 対面およびオンライン会議

1. 前選挙管理委員長より令和5年度（令和6・7年度代議員および役員選挙）の選挙管理委員候補の推薦があり承認、選任した。
2. 会費未納者の扱いについて審議し、納入の督促および未納の場合は会員資格・選挙人資格が

失効する旨の通知を再度行うこと（選挙公示前、鴨沂会報に同封）、及び鴨沂会誌の送本先を正会員とすることを確認した。

3. 令和5年度大学進学支援金・令和6年度奨学生・令和6年度教育研究助成費の募集要項を審議し、前年度と同内容で承認した。

第9回理事会 令和6年1月20日（土）対面およびオンライン会議

1. 令和6・7年度代議員選挙のための選挙人有資格者は、会費納入締切日の本年1月末日時点の正会員とすることを確認した。
2. 令和5年12月6日に実施された京都府の公益法人立入検査の件
書面での正式な結果通知書が届き次第、指摘された点を早急に改善し、定款の変更が必要な事項があれば次回の社員総会への発議を視野に審議した。
3. 鴨沂会館をより有効で公平に提供できるよう、使用場所の移動を提案するなどの利用者と協議することとした。
4. 鴨沂会誌と鴨沂会報の位置付けについて、定款に記載の刊行目的、公開方法の現状、次号の送本先を両誌で比較し確認した。

第10回理事会 令和6年3月23日（土）対面およびオンライン会議

1. 選挙管理委員会より令和6・7年度代議員選挙について、選挙人有資格者数、選挙の告示内容、選挙執行の日程および手順、必要書類が報告され承認した。
2. 編集委員会より鴨沂会報20号を3月31日に発行することが報告され、正会員（理事を除く）には選挙書類を、会費未納者には会費納入のお願いを同封することを承認した。
3. 第134回年会記念講演（第59回教養講座）講演者（惣明貞助シテ方金剛流能楽師）及び講演内容を承認した。
4. 令和6年度事業計画案を審議し、原案を一部修正して承認した。
5. 令和6年度予算案を審議し、承認した。
6. 京都府の公益法人立入検査により変更の指示のあった「定款 第9章 公告の方法 第43条」の変更文案（電子媒体による公告）を審議し、承認した。
7. 次年度の文化教室（7講座）の新規の運営体制（受講料、材料費、受講回数、講師への謝礼、欠席の取り扱い等）を審議し、承認した。
8. 令和5年度大学進学支援金事業に対して応募のあった2校からの3名について、選考委員会より全員への支援が望ましいとの審査結果報告があり、承認した。
9. 朱雀高校通信制元同窓会からの寄附に関する種々の記事をHPに公開することについて承認した。